



これからのために… 今、求められる力とは？

18日（土）、19日（日）に大学入学共通テストが行われました。

数年前から、マークシート方式のみでなく記述式の解答を行うように導入が議論されていましたが、結局、今年も導入は断念され、例年通りのマークシート方式となりました。答えが一つしかない問題なら、これで理解度を図ることができますが、なぜそう考えたのかまでは分かりません。そこで思考力・表現力を図る方法として、個々の考えを文章化する記述式の導入が検討されたということです。しかし、記述式の解答は、採点者にも回答に対する読解力が問われることとなります。何より、採点の際に答案を読み、正解としてよいかと判断することに時間がかかり、多くの採点者が同じ基準で採点するのは難しいということであり、今後も導入は難しいかもしれません。採点の難しさは、先日の「茨城県学力診断のためのテスト」も同じです。短縮授業へのご協力、改めて感謝しています。

多くの情報があふれているこの時代、知識の暗記だけでなく、何が正しいのか、比較・関連付けて課題を見付け、自分で考え解決する力、自分なりの考えを理由を明確にして表現する力が必要とされています。

そこで、これからの学校教育では、自分の考えを表現する力、文章で表す力を養っていくことが求められています。そのためには、子供に「なぜ？」と問うことで、画一的な答えでなく、なぜそう考えたのか、理由を明確にして発表させる授業を積み重ねることが大事だと考えます。

本校では、考えを表現する原点となる「なぜだろう？」と深く考える機会や「こうじゃないかな。」と思わずつぶやいてしまい、周りの子と話し合いたくなる学習（授業）となるように授業改善を進めています。以前、学校だよりでお知らせした授業の進め方がこれに当たります。時間はかかりますが、6年間じっくりと時間をかけて、しっかりと力を付けていきます。

寒い中でもみんな元気に登校して たくましく感じました。



朝のあいさつ運動12月 ～2年生・4年生の保護者からの一言～

- 朝から明るく元気にみんなあいさつしてくれてとても嬉しかったです。
- 去年よりもあいさつする児童が増えたと感じた。
皆、笑顔で登校する姿が印象的でした。
- 目を合わせてくれる子が多くなりました。
- 上級生が大きな声であいさつしてくれて、小1の子たちも大きな声であいさつしてくれて私も嬉しい気持ちになりました。
- 校門に入ると安心するのか、友達とじゃれ合い挨拶を忘れる子が多かったが、そのくらい学校が安心する場所なのだな、と思った。
- もう少し元気にあいさつできる子が増えると良いですね！
- 笑顔であいさつを返してくれる子もいてうれしかったです。



アンケートで「希望者だけにしたい」とのご意見がありました。便宜上全員のお名前を載せていますが、無理はせずに、できる方のみ参加協力していただくことにしています。強制ではありませんので、都合がついて参加できるときに参加してください。

